

品質・精度をサビから守る4つの機能

トビカラストン

〈水置換性・長期防錆剤〉

☆エアゾールタイプ 300ml

浸漬タイプ 4ℓ、18ℓ

ラストンの4つの機能は

★ 強力に防錆

最高品質の薄膜タイプ防錆剤です。
3ミクロンの防錆皮膜で1年半以上の長期防錆力があります。

★ 高度の潤滑性

潤滑性が強く、スライド部分、回転部分の潤滑剤としても使えます。

★ 水分を追いだす〈水置換性〉

表面張力が水の力で、水の下に防錆皮膜をつくり、水分を追いだします。
水滴のついたものでもそのまま浸漬できます。水とは全然まじりません。

★ しみとおる〈浸透性〉

金属の表面を浸透する性質をもっていて、どんな細い部分にもしみとおって防錆皮膜をつくります。サビで固くなったり、焼きついた部分をゆるめることもできます。



「ラストン」は金属に急速に浸透して、湿気、水分を完全に追出し、防錆皮膜をつくって、サビをシャットアウトします。

用い方は簡単で防錆力は抜群、湿気、水分の多い日本の気候に最適の特質をもつ、優良品質の防錆剤です。

特 色

- あらゆる金属の防錆に使用できます。
- 金属表面を浸食したり、色を変えることはありません。
- 急速に拡散して、どのような細いすきま、割目の中にも浸透します。
- 防錆期間は屋内1年半以上で水置換タイプの防錆剤では最高です。
- 潤滑力、浸透力が非常に大きく潤滑剤として使用できます。
- 防錆皮膜の厚さは約3ミクロンで、精度がくるうことはありません。
- 人体には無害。また塗料、プラスチック、ゴム、繊維、木材などはおかしません。
- 「ラストン」をぬった機械、部品などを使用する際、除去せずそのまま用いられます。
- 長期間保存しても変質しません。

防錆期間

- 金属表面のよごれをふきとって用いた場合
1年半以上
- 金属表面のよごれ、油分を完全にとるか、
研磨加工の直後に用いれば……………
2年以上
- スプレーまたは浸漬したあとビニールで覆うと
5年以上

(以上いずれも屋内です)

用 途

- 精密機械、機械部品、治工具、金型の防錆に。
- シャフト、ボルト・ナット、ネジ、ノコ刃の防錆に。
- 船舶、航空機、自動車、オートバイの金属部品の防錆に。
- あらゆる金属部品の防錆に。
- サビたり焼付いたポスト、ボルト・ナットのゆるめには。
- タービン、ベアリングなどの潤滑と防錆に。
- 溶接の際のアンチ・スパッターとして、また溶接後の防錆に。
- 事務器、大工道具、戸車の潤滑と防錆に。
- マリンエンジン、ミシン、ルームクーラー、農機具、芝刈機、リールの水分除去と防錆に。
- スキーエッジ、スケート、ピックル、ゴルフクラブの防錆に。
- ハサミ、蝶つかい、ウバ車、三輪車、錠前など家庭用品の潤滑と防錆に。
- 自動車、オートバイ、自転車のスライド部分の潤滑と防錆に。
- 自動車のスパークプラグ、ジェネレーター、バッテリー端子、ヒーターファン、コイル、スイッチボックス、キーボックスなどの保守に。

資 料

- 塗布面積 1ℓで約200㎡
皮膜の外観 透明でごく薄い茶色
皮膜の厚さ 2～3ミクロン
粘 度 SUS 36/20℃
引 火 点 58℃ (註)
表面張力 水の約1/3
耐 候 性 皮膜は-50℃～200℃まで安定
電気抵抗 16,000V Per ASTM
#D-877-49

P H 6

ミネラルスピリット消散時間 2時間

安全限度 1,000P.P.M.

(註) 引火点とは液温をその温度にして液面から発生する蒸気に点火した場合もえるということ、**「ラストン」**は常温では、ほのおを近づけてももえません。

促進試験

湿润テスト(湿度100% 温度49℃)1,440時間以上

塩水噴霧試験(5%塩水噴霧、軟鋼)120時間

MIL規格 MIL-C-23411 該当

JIS規格 NP-3



容 器

4ℓ缶入り 18ℓ缶入り
300ml入りエアゾール缶
(写真)

使 い 方

スプレー

エアゾールタイプの「ラストン」は金属表面のゴミをふきそり、そのままスプレーしてください。

特別付属品の噴霧器、あるいはお手持の噴霧器を使ってスプレーされるときも同様です。

塗 布

ハケまたは布でスプレーの場合と同じ前処理をして金属表面にぬってください。

浸 漬(ディッピング)

槽の中に「ラストン」を入れ、大きなものはそのまま、小さな部品などはザルに入れて浸漬します。

浸漬時間は、1～2分で充分です。

除去方法

「ラストン」は除去せずにそのまま使用できるのが特色ですが、どうしても除去する必要があるときは灯油、ベンジン、シンナーなどの溶剤でふきとってください。

製造元



東美化学株式会社

〒132-0034 東京都江戸川区小松川3-2-2
TEL: 03 (3683) 5631 (代表)
FAX: 03 (3637) 7877

URL: <http://www.tobika.co.jp> E-mail: info@tobika.co.jp